

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

今月の読み物

- 2面 新年の連帯メッセージ
- 3面 国際署名を10万筆集めよう
- 4、5面 留学生インタビュー in 京都
- 6、7面 第1回常任理事会
- 8面 京都市長選挙、大阪W選挙

2016年1月1日 No.666

広げよう 平和と連帯の輪を 世界と日本に



ベトナム・ハノイ市のハノイ聖堂横の中学校の生徒たち (撮影:大村哲さん)

新年明けまして

おめでとうございます

2015年は世界も日本も大変な激動の年となりました。そのなかで、キューバと米国の国交回復、軍政からの転換の展望を開いたミャンマーの半世紀ぶりの民主的選挙、そして12月31日、ASEANが経済・政治・安全保障、社会・文化の共同体を発足させました。非同盟と民主化が世界の主流であることを示しました。

しかし一方、中東・ヨーロッパでの内戦やテロ事件、南米での反革命勢力の巻き返しなどの複雑な事態、南シナ海や北東アジアでの不信と緊張の高まりなど深刻な問題からも目を離すことはできません。

わけても、安倍政権の「戦争法」強行制定は、底なしの対米従属と、そのもとでの侵略的野望という危険な暴走として断じて許してはならないものです。

私たち日本AALAは、こうした情勢をいま一度とらえ直し存在意義を発揮し、「戦争法」廃止、平和・協力・繁栄の東アジア共同体の建設、東アジアで戦争を阻止し不戦の条約締結を求める国際署名、非核・非軍事同盟の世界を目指した連帯運動を進めましょう。同時に、日本AALA組織の拡大・強化に奮闘しましょう。私たちが昨年の大会決定にもとづくこれらの運動の先頭でがんばる決意を表明します。

2016年1月1日

代表理事

小松崎 榮

澤田 有

2015 国際シンポジウム

パネリストから
新年の連帯メッセージ戦争法廃止の野党共闘実現のために
「中国脅威論」を打ち破ろう

慶應義塾大学教授 大西 広



昨年の戦争法反対の闘いは未曾有の高揚を見、今度は戦争法廃止のための政府を作る闘いに進展しようとしている。私は慶應の人間なので、「慶應有志の会」の場で、そのための野党共闘の実現に命をかけて戦っている小林節名誉教授の姿を身近に見ているが、この本気さが今求められている。そして、そのために我々ができることのひとつは「中国脅威論」と闘うことであろうと思われる。「中国脅威論」は戦争法国会の後半になって安倍首相が最後の切り札として持ち出してきたものであるが、その本音を最初から持ち出せなかったのには、それを言うのと、アメリカや財界からの反発が予想されたからである。なぜなら、この本音を言葉にすると、安倍政権が中国と戦争をするための法案ということになり、対中経済関係が事業の発展に不可欠と考える財界は警戒する。そして、本来「日本の戦争」にすぎないものに「巻き込まれる」かも知れないとアメリカも警戒することとなるからである。この意味で、財界にもアメリカにも「戦争法反対」が広まる可能性がある。中国が日本を攻めるなどということは、それを真面目に考える学者はいない。危ないのは安倍の方である。

3拍子で面白い、それが AALA だ

日本共産党副委員長 緒方 靖夫



「やって面白い、学習して面白い、ひろめて面白い」——私は、第 52 回大会での挨拶で、日本 AALA の活動についてこう実感のべました。のちほど、いくつかの地方の方から分かりやすかったと、感想をうかがいました。

世界の視野で、日本の革新の事業をすすめる、それをすすめることができるのは AALA です。世界を相手にするこの面白さに合点がいきます。

世界では紆余曲折を経ながらも非核・非軍事同盟の運動が前進しています。昨年の 5・24「国際シンポジウム」に参加したパネリストから新年の連帯メッセージが寄せられました。今年も、戦争法廃止の 2000 万統一署名、沖縄米軍新基地建設反対、非核・非軍事同盟の運動を国民共同で前進させるために力を尽くそうではありませんか。

世界の情勢は、日本のそれと同様に紆余曲折、試練が多くあり、複雑です。もちろん敗北もあれば勝利もあります。有利な情報を集めて並べるのではなく、すべて正面から向き合うことはとても意味のあることです。15 年末に「ASEAN 共同体」が発足しました。1967 年以來の歴史は、試練だらけでしたが、今日、新しい段階で、ASEAN の団結、中心性が問われる事態があります。

中南米でも、平和共同体として大きな急速な発展をとげてきましたが、その到達のなかで、個々の国の統治で困難がみられます。どちらも、それぞれ異なる困難ですが、克服していくでしょう。そのプロセスと努力に意味があり、興味もわくものです。リアルに世界を視る、ここに醍醐味があります。だから、AALA 出番の情勢なのです。

両国人民の平和的、兄弟的連帯の発展を

ベトナム・アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯協力委員会副会長
グエン・バン・フィン

日本 AALA による先の国際シンポは、地域で平和と連帯を発展させるよい機会になりました。平和的な発展と協力が国際関係の主流であるとはいえ、世界では大国間のパワーゲームが続き、地域戦争や武力紛争がおこっています。IS の拡大は世界人民にとって共通の脅威です。

アジア太平洋地域は、米国のピボット（中軸）政策と中国経済の成長という 2 つの問題に直面し、領土と主権をめぐる争いや各国の歴史論争、北朝鮮の核問題が地域の国際関係を複雑にしています。それは平和憲法の解釈変更に対抗する日本国民のたたかひを含め、各国人民の闘争にも強い影響をあたえています。ASEAN が 2015 年末までの経済共同体建設を宣言したことは積極的な動きですが、複雑な問題もおきています。

新年にあたり日本 AALA とベトナム AALA 連帯協力委員会との平和的、兄弟的連帯の関係と、両国人民の関係がますます強固に発展することを願っています。

街頭で国際署名を訴える大阪 AALA



緊急で重要性を増す 「戦争するな！どの国も」国際署名

秋の東アジア首脳会議までに10万筆集めよう！

国際署名の内容

日本 AALA は、「平和・協力・繁栄の東アジア共同体」の建設に向けてさまざまな取り組みをしています。その1つの柱として、次の3つを内容とする国際署名を推進しています。

1. 自然災害、感染症予防、環境問題など協力し、相互信頼を醸成し、話し合いの条件をつくる
2. 話し合いで、紛争や武力衝突を戦争に発展させないために具体的な規範（ルール）をつくる
3. 話し合いによる紛争の解決、武力衝突回避に止まらず、内政不干渉、武力による威嚇あるいは武力不行使などを規定している東南アジア友好協力条約（TAC）型の『東アジア友好協力条約』の制定をめざす

この内容は地球温暖化や南シナ海問題などの世界の状況や情勢から緊急性と重要性が増しています。

東南アジア諸国連合が共同体に「クアラルンプール宣言」に署名

1967年に発足した東南アジア

諸国連合（ASEAN）が、昨年の12月に共同体になりました。

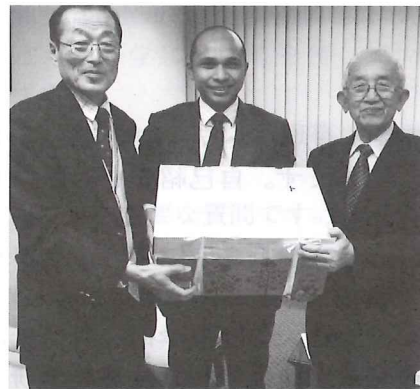
それに先立ち、11月22日に ASEAN10カ国の首脳は、共同体発足から10年間のビジョンになる「ASEAN2025クアラルンプール宣言」に署名しました。

「クアラルンプール宣言」に国際署名第3項目と同じ内容が入る

「クアラルンプール宣言」は、ASEANが東アジアの中心的役割を果たすとし、「政治・安保共同体」の章で、「東アジア首脳会議（EAS）参加国の互惠関係原則を実現し、東南アジア友好協力条約（TAC）に基礎を置く法的拘束力のある文書を採択する」と述べています。これは日本 AALA の国際署名の第3項と同じ内容です。

1万筆の国際署名を EAS 議長国のマレーシア大使館に委託

日本 AALA の都道府県組織や会員のみなさんは、国際署名の緊急性と重要性を考えて、とりくみを強化し11月末で1万筆を超えました。日本 AALA 本部は、昨



駐日マレーシア大使館に署名を委託

年11月22日の東アジア首脳会議（EAS）に向けて、11月18日に EAS の議長国である駐日マレーシア大使館で参事官にお会いし、署名を委託しました。

今年の EAS までに 10 万筆を！直接届けるツアーも計画中

今年の EAS はラオスで開催されます。昨年11月26日の常任理事会では、その時期までに10万筆の署名を集め、ツアーも計画し、EAS に直接提出することを決めました。それに向けてがんばりましょう。

日本はずっと 平和で安全な国でいてほしい

留学生
インタビュー
in
京都

大学のまち、京都。京都 AALA は留学生との交流があり、彼らから話を聞く会などをつづけています。野本事務局長は昨年晩秋の京都を訪れ、辻崎忠由京都 AALA 事務局長と井上史運営委員の案内で、留学中の3人の大学院生、研究員に京都大学時計台にあるサロンでお話を聞きました。

野本 日本 AALA の事務局長をしています。自己紹介をお願いします。

Laura Abril (ラウラ・アブリル) コロンビアのボゴタ市から来ました。京大の大学院農学研究科博士課程の2回生です。熱帯農学研究室にいます。滞在2年です。土壌、昆虫、植物の共存に関わる農業生態学を専攻しています。以前は昆虫学をやっていました。



ラウラ・アブリルさん

先生の勧めで参加しました。君島ゼミで国際関係学と平和学を研究しています。中国では平和学がはじまったばかりで、日本で研

究したくて立命館大学へ来ました。これからの世界は不安定傾向にあると思います、平和学を学ぶことがいちばん必要ではないかと考えたのです。とくに中国は成長している国だからこそ平和学が必要ではないかと思えます。

野本 みなさんは研究に真摯にとりくんでいるんですね。日本で困っていることなどはありますか。

トレジャ 日本での生活は気に入っています。友人にも助けてもらっています。5歳の娘が保育園に通っていますが、日本語の書類はよく理解できません。日本の友人に、なにが書いてあるのか、なにを書くべきかを教えてもらっています。公立保育園はいい環境で、娘は日本語をととても上手に



話すようになりました。夫も留学生なので、研究出張のため2人とも家を空けないといけないときがありましたが、そういう親のために子どもを見てくれる施設があり、1週間預けました。子育ての大変さや、いろいろなことがあっても日本が好きだし安全な国だと思います。

ラウラ 困ったことはないですね。日本は安全で、国がまとまっていますから。唯一、言葉の壁だけが問題です。研究室ではクラスメイトや指導の先生が助けてくれます。日本の友人は家族のようで、よく支援してくれます。

張 2015年の1月に日本に来て、1年間の滞在のため、間もなく帰国します。中国政府の奨学金を得ています。



張 鷗さん

野本 みなさんは研究を終えて帰国したあと、どんなことをするのですか。

張 博士号をとり、平和学を教えたいです。南京大学を含めてどこかの大学に通うかよく考えて決め



トレジャ・マベナさん

たいと思います。

トレジャ スワジランドは開発途上国なので、開発のために働きたいです。目標は会社の社長になること。

国を發展させる大きなプロジェクトの運営を望んでいます。来日する前、私は人材開発部門で働き、開発プロジェクトの管理運営者を募っていました。HIVを減少させ、子どもたちの状況を改善したいという思いもあります。

ラウラ 農業に関する NGO か国連でマネジメントに関する仕事をしたいです。コロンビアは農業が基本の国ですから、環境にやさしく持続可能な食物や果実を生産する国にしたいですね。いまはコーヒーがいちばんの生産物で、次がサトウキビ、そして花をヨーロッパ、アメリカ、やアジアに輸出しています。エメラルド、石炭、米も生産します。コロンビアは熱帯気候で四季がありません。ボゴタはいつも春です。

トレジャ スワジランドは暑くて、雪は降りません。京都で綺麗な雪を見るとうれしくなり、うっとりしてしまいます。スワジランドで一度だけ雪が降ったことがありました。すぐに学校が休みになって大喜びでした。

張 中国は日本より寒いですが、暖房であたたかくして過ごしています。2015年の1月、京都は寒くて、そのうえエアコンがあまり効かず、せきが出て2カ月治りませんでした。

* * *

野本 日本では戦争法が国会を通りましたが、ご存知ですか。

張 政府は安全保障法と言っていま

すが、法律を変えて軍を持つことです。デモがありましたね。

トレジャ 政策について深くは知りませんが、NHKの国際ニュースで四条河原町通りのデモを見ました。若者たちが「No war in Japan」というプラカードを掲げていました。

野本 日本 AALA は戦争法に反対しています。さて、みなさんが好きな言葉、あるいは大切だと思っていることがあれば紹介してください。

ラウラ 私は科学者ですから、大切なことをあげるとすれば、誰もが教育に注意を払ってほしい、ということです。教育と科学はとても重要で切っても切れない関係です。だから経済学、人間科学、生命科学、生物科学など、どんな科学にも関心を持っています。

(ここでラウラさんは用事があるので退席しました)

トレジャ 重要な質問です。教育だけで十分ではありません。人間は、発達を助けるいろいろな機会を持つべきです。子どもたちに他人に敬意をはらうことを教えるのも大切です。そういう道徳と教育がそろって、はじめて安全な場所や国がつけられるのです。

張 人間の愛、寛容さが必要です。いまの世界はそれらを受け入れ難いから、戦争になりやすい。親や子に与える愛を、自分以外の世界のすべての人びとに与えれば平和になると思います。

野本 5・24 国際シンポジウムでは平和の共同体づくりについて討論しました。ところで、トレジャさんの国では正月をどのように祝いますか。

トレジャ 大晦日の晩に教会に行き、祈ります。夜が明けると、大量の料理をつくります。祖父母、両親、姉妹、おじ、おば、いとこ、子どもたちなど、30~40人が庭がある親戚の大きな家に集まります。家は京都大学の半分くら

いの広さがあります。スワジランドは小さい王国で人口は140万人くらい。山あり、森林あり、丘ありの自然豊かな国です。

張 中国は人口が14億人以上。先ごろひとりっ子政策をやめたので、おそらく人口は増えると思います。

野本 日本国憲法の第9条はご存知ですか。戦争放棄条項です。

張 憲法9条は日本が軍を持たないと定義しています。ただし自衛隊があります。日本には9条を変えようとする人がいます。

トレジャ 憲法に戦争放棄の条項があるのですか。くわしくは分かりませんが、日本の人びとがそれを維持したいと思うならそれでいいと思います。

張 普通の国では国を守るために軍を持たねばと考える人がいます。中国では多くの人が軍を持つべきだと考えています。日本では多くの人が9条を変えることに同意していません。しかし、日本では指導者が法を変えて軍を持ち、普通の国にしようとしています。

野本 憲法9条は日本の宝、世界の宝だと言えらると思いますが。

張 そうですね。私は憲法9条についての論文を書きました。

トレジャ 9条が日本の人びとのなかに根付いているのならば、大切にしたいですね。

張 日本には2つの意見があります。1つはほかの国のように軍を持つべきだという意見。もう1つは憲法を変えることを認めないという意見。

トレジャ なぜ9条を変えるのでしょうか。

張 憲法9条を変えたい人は、日本が第二次世界大戦前と同じようになり、戦争できるようになると考えています。それはとても危険なこと。だから、武力を持つことに対して現実的に考え、憲法9条を守るべきだと考える人が多いのです。

トレジャ 私は日本が平和で安全な国でいてほしいと願っています。どの国も平和であることが重要です。

野本 私も日本が平和な国でありつづけてほしいと思います。今日はありがとうございました。



取材を終えて

2時間ほどのインタビューでしたが3人の留学生、研究員は張さんが日本語で、ラウラさんとトレジャーさんが英語で対応してくれました。みなさん京都大学、立命館大学で専攻分野の研究に熱心にとりくみ、帰国後は国の発展のために学んだことを活かして働きたいといひます。また、日本が平和で安全な国だと語っています。戦争法が「成立」したいま、改めて憲法9条を守り、平和のために不断の努力をしなければと思ひました。(野本久夫)

日本 AALA の存在意義を發揮し、 戦争法廃止の国民連合政府、 平和・協力・繁榮の東アジア共同体づくりに貢献を

第1回
常任理事会

第1回常任理事会で 大会活動方針を具体化

2015年11月26日、日本 AALA の第1回常任理事会が開催され、10月の大会決定の具体化を熱心に協議しました。

理事会のおもな内容を報告します。国民のなかに思い切って広く入り、会員の拡大と結んで諸活

動をすすめましょう。

旺盛な学習活動と啓蒙運動

非核・非軍事同盟の運動や「平和・協力・繁榮の東アジア共同体」建設にかかわる学習をおこなない、確信を深めるとともに、国民のなかにその

* 具体的なとりくみや学習会（2月ごろを予定）などは後日お知らせします。



二大署名の推進

■「戦争するな！どの国も」国際署名

2016年の東アジア首脳会議（EAS）までに10万筆集約の推進。

* 2015年11月18日駐日マレーシア大使館のアズリ・マツト・ヤコブ参事官と面会。日本AALAを紹介し、国際署名の内容などを説明し、署名1万400筆を提出。

* とりくみ期間の設定

第1期：3月末までに、各県が会員1人当たり10筆の集約。

第2期：7月の理事会までに、各県が会員1人当たり20筆の集約。

第3期：2016年のEASまでに10万筆（会員1人当たり30筆）集約。

情勢や重要性を広めます。

連帯活動と連帯ツアー

■沖縄県民のたたかいに連帯・支援するツアー

目的…沖縄AALAとの交流と組織の強化、軍事基地撤去・オスプレイ配備反対運動支援、普天間基地撤去・安心安全な市政実現する活動、戦跡めぐり（オプション）

日程…2016年1月7日（木）～10日（日）

費用…8万1000円（羽田発着）

人数…25～35人

■韓国連帯のツアー

目的…「慰安婦」問題解決をめざし、連帯するたたかいをすすめます。

日程…2016年4月頃 3泊4日くらい

訪問先…韓国ソウル市

* 詳細が決まり次第、お知らせします。

■ASEAN訪問

2016年8月～10月ごろに東アジア首脳会議（EAS）の期日に合わせてラオス（16年のEAS議長国）などASEANツアーを企画し、国際署名提出を予定します。

■戦争法の廃止を求める2000万統一署名

（「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼びかけた署名）

* 2016年5月3日までに日本AALAとして10万筆集約。

* 集約目標 国際署名に準ずる。*国際署名との相乗効果を。

* 各県のとりくみの教訓を「事務局だより」などで紹介し、運動を交流します。

原発再稼働反対と核兵器廃絶のたたかいの前進を

* 原発再稼働反対、核兵器廃絶の共同を強めます。

* 福島原発事故の現状と原発の危険性を世界に発信します。

組織の拡大強化と財政の確立

* 7月の日本AALA理事会までに4000人の会員と未組織県に組織をつくります。

* 財政確立に寄与するために、オスパールコーヒーの普及と販売を都道府県AALAが積極的にすすめます。ホームページからのコーヒー注文を改善しました。

- 1、非同盟諸国の国民などとの連帯・交流をひろげます。
- 2、3つの連帯ツアーを成功させます。
- 3、パレスチナ国家承認を求める学習と署名などの活動をすすめます。

“教え子を戦場に送るな”の思いを胸に 戦争法廃止、原発再稼働反対などをかけ

京都市長
選挙

京都 AALA 運営委員長

本田久美子さんが立候補

2016 年 1 月 24 日告示、2 月 7 日投開票で京都市長選挙がおこなわれます。

京都 AALA 運営委員長の本田久美子さんが立候補の要請を受け、9 月 19 日の記者発表から活動を開始しました。京都 AALA は、本田久美子さんとともに平和憲法を生かし、誰もが安心して暮らせる京都市政の実現のために奮闘しています。なお、現市長は門川大作氏で、2 期目です。

本田久美子さんは、立候補にあたって、「教え子を戦場に送らない」などの「3 つの思い」を発表。「戦争法とその具体化のなかで確固として『平和憲法』を発信し続け、『全国平和首長懇談会』を呼びかけ、とりくみます」などの「5 つの基本姿勢」をかかげています。

●本田久美子さんプロフィール

佛教大を卒業後、京都市立小で教員を務め、京都市教組執行委員長、全日本教職員組合中央執行副委員長などを歴任。現在は教育関係者などでつくる「京都教育センター」の事務局長。京都 AALA 運営委員長。左京区在住。



京都の憲法市長実現のため、全国の AALA 会員のみなさんにご支持と、物心両面のご支援を訴えます。

オスパールコーヒーを
どうぞご利用ください

ホームページからの注文が
簡単になりました

ご贈答には
ギフトセットを用意しています

■ギフトセット (3)

マラゴジベ、キリマンジャロ、ブレンド
3300 円 (写真)

■ギフトセット (6)

マラゴジベ、キリマンジャロ、ブレンド、
マンデリン、ブラジル・サントス、コロ
ンビア・スブ
レモ
6220 円



お申込みは「日本 AALA」でホームペ
ージを検索して注文、または オスパール
工場 (FAX 049-254-8158) へどうぞ

大阪府知事・市長 W 選挙

大阪 AALA が奮闘

11 月 22 日投開票の大阪府知事・大阪市長選挙で、大阪 AALA は「大阪維新の会の地方自治破壊を許さず、府・市民のくらしと営業を守る」の一点で、「明るい民主大阪府政をつくる会」、「大阪市をよくする会」に結集し奮闘しました。

10 月に緊急の臨時理事会を開いて全会員に決起を呼びかけ、役員を中心に平和友好団体の共同宣伝行動や大阪革新懇の行動に積極的に参加し、支持拡大にとりくみました。

選挙戦は、自民党推薦、無所属の栗原貴子氏 (知事候補) と柳本顕氏 (市長候補) を自主的に支援し、当選をめざすたたかいとなりました。両選挙とも、ふたたび大阪市解体の「大阪都構想」を掲げた維新の会候補との事実上の一騎打ちでした。結果は安倍政権を喜ばせる残念なものとなりましたが、保守層との共同を広げ、次に生かせる確かな足掛かりを築くなど、善戦したといえます。

かつてなく積極的にとりくんだ大阪 AALA は選挙結果を分析・総括し、教訓を今後の活動に生かす決意です。

(大阪 AALA 理事長 澤田 有)

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒 160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第 33 宮庭ビル 4 階
電話 : 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>
FAX : 03 (3357) 6255 E-mail : info@japan-aala.org
振替 00110-6-72434 毎月 1 回 1 日 発行 1 部 150 円 (送料 62 円)